

G空間EXPO 国土地理院主催シンポジウム 3次元地理空間情報の 活用の将来展望

2015年11月27日(金) 10:30~12:45

日本科学未来館(東京都江東区青海2-3-6) 7F 会議室2
(事前登録不要)

現在、3次元地理空間情報や測位による位置情報を活用したサービスが多く展開されつつあります。屋内外を問わず、自らの位置情報をリアルタイムに、シームレスに把握できる技術の普及により、国民の安全・安心・快適な社会の実現が期待されています。

特に、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、我が国を訪れる多数の外国人観光客が、ストレスを感じることなく、自らの位置を認識しながら、会場・屋内空間を含むその周辺を移動するための環境の整備が必要になっています。また、外国人のほか、高齢者・障がい者などが、災害発生などの緊急時において、円滑に避難できるような環境の整備も必要になっています。

このような高度な取組のために、測位や3次元地図などの3次元地理空間情報に関連する取組のさらなる推進・発展が求められているところです。

国土地理院では、G空間EXPOにおいて平成25年から3次元地理空間情報に関するシンポジウムを行っています。今年は、昨年に引き続き、この分野の最前線で取り組まれている有識者の方々をお招きし、3次元地理空間情報の現状と進捗、そして今後の展望について、議論します。

趣旨説明 (10:30-10:35)

基調講演 (10:35-10:55)

柴崎 亮介 氏(東京大学 空間情報科学研究センター)

講演 (10:55-12:25)

越塚 登 (東京大学 大学院情報学環)

筒井 智紀 (国土交通省 国土政策局)

三田 哲也 (東日本旅客鉄道(株) JR東日本研究開発センター)

竹川 道郎 ((株)ゼンリン 第2事業本部)

中島 秀敏 (国土交通省 国土地理院)

坂下 哲也 ((一財)日本情報経済社会推進協会)

総合討論 (12:25-12:45)

問い合わせ先：国土地理院 地理地殻活動研究センター 地理情報解析研究室

Tel：029-864-6470(直通)、029-864-5903(直通)